

岩手に町職員派遣へ

大隅半島4市5町は、東日本大震災の被災地・岩手県大船渡市に、職員による復興支援チームを派遣しました。

これは肝付町が、宇宙航空研究開発機構の施設がある全国6市町でつくる『銀河連邦』の縁で、同市に14日から職員を派遣しており、他市町も支援に協力しようとして、各首長が集い、復興支援を決めたものです。



支援チームの一員として派遣される職員に辞令の交付が行われました。

農業委員会 福岡 徹
総務課 堂山雅司

被災地に希望の光を

本町職員2名は、(農業委員会福岡徹、総務課堂山雅司)復興支援チームの第3陣として、4月4日(月)から9日(土)までの6日間、岩手県の大船渡市において復興支援を行いました。

現地に着いた職員は、まず海沿いの被災地へ。「多くの民家が被害を受けており、倒壊した家屋、ひっくりかえったままの車、住宅地に乗り上げた船。想像以上の『被災地』の光景があった。」と第一報が届きました。

大きな被害を受けた同市は、数千人が避難所での生活を余儀なくされ、いまだ雪がちら

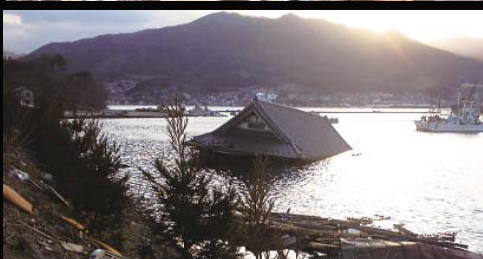
つく日もあり、厳しい寒さが続いているそうです。

支援チームは、全国から届いた支援物資を、各避難所ごとに仕分けする作業や給水作業車による給水作業にあたっています。

また、第2陣より保健師も派遣され、血圧測定や、体調の変化の聞き取りなどの健康支援も開始しました。

支援チームは、6日間交代で、支援を継続することとしており、要請内容などを精査しながら、派遣人数、職種、期間などを決定のうえ、順次、派遣を実施していきます。

被災地に希望の光が差し込むよう、一日も早い復興を願っています。



▲現地から送られてきた岩手県大船渡市の状況写真

②物資の提供

被災地から緊急に必要な物資として、肌着、下着(新品に限る)、缶詰(缶切り不要な物)が不足しているとの情報がありました。これらをご提供頂けるものがありましたら是非ご協力ください。※詳細については、保健福祉課までお問い合わせください。

今後、被災地から物資の要望がある場合は、随時お知らせいたしますので皆様のご支援ご協力をよろしく願います。

義援金をお届けしました。

すでにご協力いただいた義援金74万9750円(3月30日現在)は、日本赤十字社の災害復興義援金受付窓口を通じて被災地へお届けいたしました。

引き続き、募金活動を行っていますのでご協力をよろしく願います。

詐欺に注意!

東日本大震災の被災者支援を装い、義援金の振り込みを要求する不振なメールや電話が県内で相次いでいます。義援金名目で貴金属回収を募る不信な電話や訪問するケースが志布志警察署管内でも発生しています。

義援金を送る際は、確かな団体かどうか確認してください。

不振な電話は、志布志警察署までご相談ください。

☎ 472-0110